

特集 企業内診断士のネクストキャリア

第1章

【アンケート】

あなたはネクストキャリアをどう考えるか



水戸 脩平

千葉県中小企業診断士協会

診断士資格の取得後、独立や起業、転職といった「次のキャリア」を考える人は少なくないと推察される。本特集では、診断士資格が次のキャリアに有効活用できるのかについて、アンケート調査を実施するとともに、ネクストキャリアの経験者へのインタビューを行った。その実態を把握するとともに、中小企業診断士が今後のキャリアを考え、豊かなものにするうえでの一助としたい。

ちなみに、診断士資格取得後のキャリア（独立・起業および転職）については「セカンドキャリア」と呼ばれることもあるが、それは定年前後の社会人を指すことが多いため、本特集では「ネクストキャリア」とした。

1. アンケートの概要

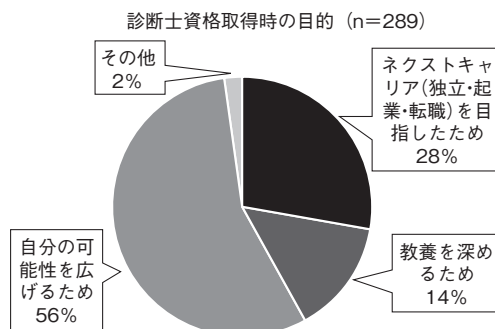
全体の約7割が企業勤務といわれる中小企業診断士であるが、資格取得をネクストキャリアにつなげられているのだろうか。実際に、資格取得後に転職を経験した筆者にとっても身近な疑問であった。

そこで、ネクストキャリアの経験がある診断士・未経験の診断士のそれぞれに対し、アンケートを実施した。対象は原則として都道府県協会所属の中小企業診断士で、合計289名の回答が得られた。

回答者の構成は、ネクストキャリア経験者47%、未経験者53%である。また、現在企業内診断士である人が75%、独立診断士が25%

年齢構成は30歳代以下29%、40歳代43%、50歳代25%、60歳代以上3%であった。

回答者に対し、資格取得の目的について質問した結果、「自分の可能性を広げるため」の56%に次いで、「ネクストキャリアを目指すため」が28%であった。このことから、資格取得当初からネクストキャリアを意識している人が多いといえる。



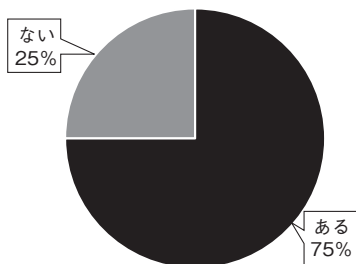
では、ネクストキャリア経験者・未経験者の本音や実態がどうなのか、未経験者・経験者の順に説明する。

2. ネクストキャリア未経験者の本音

(1) ネクストキャリアを考える人は多い

ネクストキャリア未経験の中小企業診断士（計153名）においても、75%は独立・起業・転職を考えたことがあると回答している。診断士受験・資格取得をきっかけに、ネクストキャリアへの意識が高まっているといえる。

【未経験者】ネクストキャリアを考えた経験があるか(n=153)



また、それを考えた時期についても、69%が資格取得後3年以内に一度は検討したことがある。考えたきっかけは人それぞれだが、「周囲の方（中小企業診断士・友人など）の活躍に刺激」された人が45%と最も多い。

(2) 40歳代までに検討する人も存在

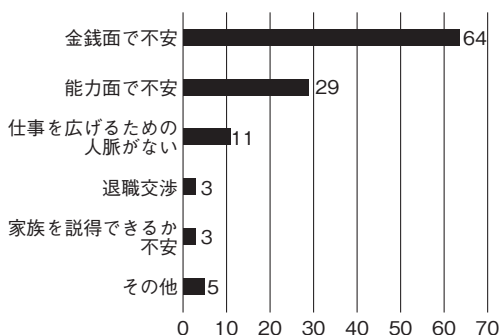
企業内診断士のネクストキャリアといえば、「定年退職後に独立」をイメージする人が多いのではないだろうか。しかし、アンケートでは未経験者かつネクストキャリアを検討したことがある人のうち、36%が40歳代までに独立・起業・転職を考えていると回答した。

1社のみでのキャリアが当たり前ではなくなっている近年、診断士受験・資格取得をきっかけに早いタイミングでネクストキャリアを志向する人が増えているといえる。

(3) 金銭面・能力面で不安

では、未経験者がネクストキャリアに踏み切れない理由は何か。一番大きい不安は金銭面で、次に能力面が挙げられる。ほかにも人脈・退職交渉および家族の説得も挙げられた。

【未経験者・ネクストキャリアを考えたことがある人のみ】
ネクストキャリアの不安(n=115)



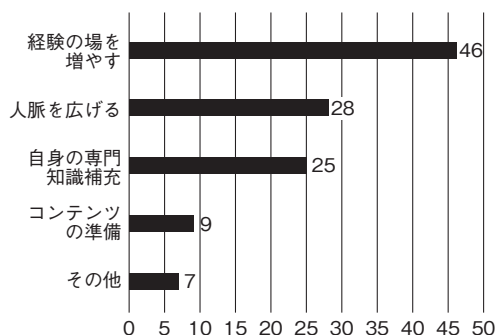
また、企業内診断士を続けるメリットとして、「金銭面で安定」(32%),「今の仕事にやりがいがある」(29%),「独立しなくてもできることがある」(24%)が挙げられた。

つまり、金銭面や能力面に不安がある場合、または勤務先で昇進したなどのように現職でやりがいを持っている場合は、無理をしてまで現職から出る必要を感じていないが、一方でネクストキャリアに常にアンテナを張り続けている人は多いといえる。

(4) 経験・人脈を広げようと活動

一方、未経験者でネクストキャリアを考えたことのある中小企業診断士(計115名)が、独立・起業・転職に向けて何を準備しているかを分析した。

【未経験者・ネクストキャリアを考えたことがある人のみ】
独立・起業・転職に向けて準備していること(n=115)



「経験の場を増やす」、「人脈を広げる」、「自身の専門知識補充」といった活動を行っているほか、「コンテンツの準備」を進めているなど、意欲的に活動している。

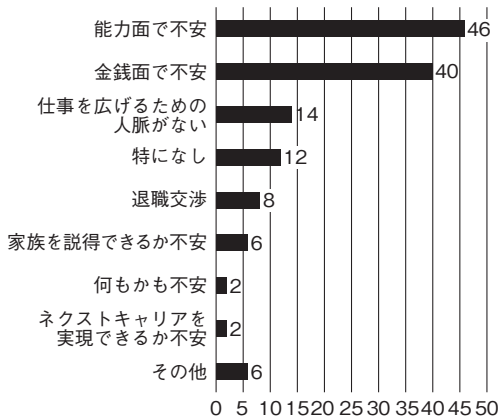
また、ネクストキャリア未経験者(計153名)のうち、86%は診断士資格を取得したことに対し、「良かった」と認識している。

3. ネクストキャリア経験者の意見

(1) 経験者も同じ不安を持っていた

未経験者がネクストキャリアに踏み切れない理由として、金銭面・能力面が挙げられていたが、経験者も同様の不安を持っていたことが、次のグラフからわかる。

【経験者】ネクストキャリアを選ぶ前の不安 (n=136)



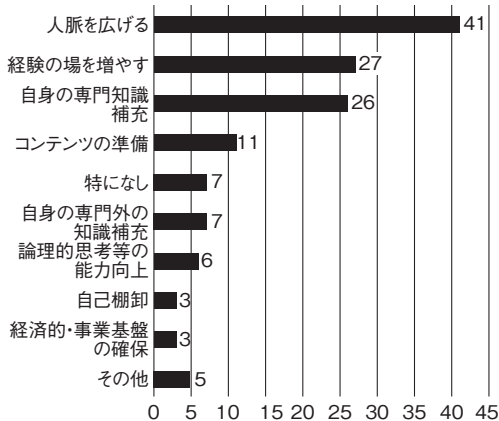
ほかにも人脈・退職交渉および家族の説得という点も同様である。つまり、経験者も未経験者と同様に不安を持っていた中で、それらを乗り越え、ネクストキャリアを実現させたといえる。

(2) ネクストキャリアへの活動もほぼ同様

ネクストキャリア経験者（計136名）においても、未経験者と同様に、「人脈を広げる」、「経験の場を増やす」、「自身の専門知識補充」といった活動を行っている。

それに加え、「コンテンツの準備」の差別化や「自身の専門外の知識補充」などのスキルアップを並行して図るとともに、「経済的・事業基盤の確保」に手を打つことで、リスクヘッジを図っていたことがわかる。

【経験者】ネクストキャリアに向けて準備したこと (n=136)

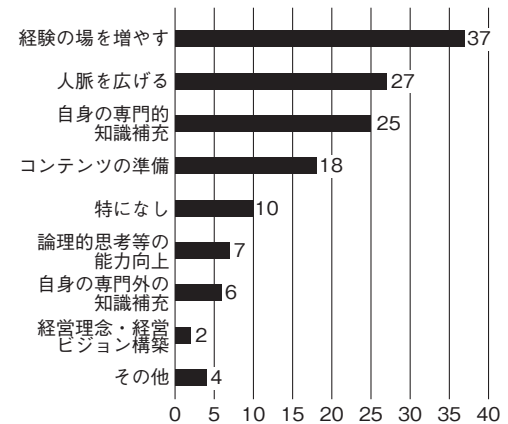


(3) いくら準備しても読めない面がある

一方、ネクストキャリア経験者が、選択前に準備すれば良かったと考えていたことを確認した。すると、準備したことと同様に、「経験の場を増やす」、「人脈を広げる」、「自身の専門知識補充」といった活動が多く挙げられる。どんなに準備をしても、十分とはいえないということがわかる。

また、準備したことと比べ、回答する人が多かったのが「コンテンツの準備」である。経験者からは、「診断士資格が直ちにネクストキャリアにつながるわけではない」との意見も複数挙がっている。つまり、診断士資格に加え、前職の経験などをベースにした独自の強みを持つことが必要といえる。

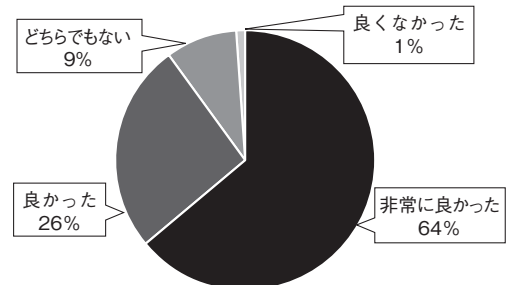
【経験者】ネクストキャリア選択前に準備すれば良かったこと (n=136)



(4) 「選んで良かった」人が圧倒的

ネクストキャリア経験者のうち、90%が選んで良かったと回答している。よって、苦勞はあるものの大半は満足しているといえる。

【経験者】ネクストキャリアを選んで良かったか (n=136)



(5) 診断士資格もおおむね役立っている

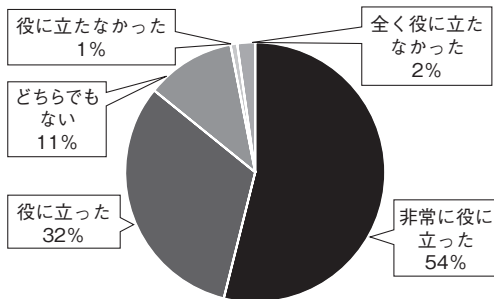
また、診断士資格についても、ネクストキャリアに役に立った人が86%存在する。

一方、特に外資系コンサルティング会社に転職するうえでは、MBAに比べプラスに評価されないとの声もあり、中には「診断士資格を持っていることが、コンサルティングスキルを持っていることと同義ではない」との声も出ていた。

ただし、第2章で登場する国内コンサルティング会社転職者（片平智之さん）は中小企業を主なお客様としていることもあり、「診断士資格は強み」と述べている。

よって、ネクストキャリアにおいて、診断士資格はおおむね役立っているといえる。

【経験者】診断士資格がネクストキャリアに役立ったか(n=136)



(6) 経験者からのアドバイス

ネクストキャリアへの挑戦について、経験者からは「まずは準備をきちんとしておくべき」、「診断士資格以外の強みを出すべき」などの意見が多く挙がっていた。また、決断する前に「貯金を確保しておく」、「まずは副業でやってみるのもあり」との意見も出ていた。

さらに、現職にあるうちに、「社外で通用する仕事の能力を磨くべき」との意見もある。診断士資格を保有していることが、ネクストキャリアの成功を約束するものではないことを意識するべきとの助言といえるだろう。

一方、挑戦を勧める意見としては、「最終的に決めるのは自分」、「チャンスがあれば逃さないほうが良い」、「診断士資格で可能性は大きく広がる」との意見が挙がっている。

ネクストキャリアを選んで良かったという意見が圧倒的に多いことから、選ぶメリットやリスクを考慮したうえで、最善の決断を行うことが必要となる。

4. ネクストキャリアの可能性は広がる

ネクストキャリアについて、中小企業診断士は受験時から、その可能性を広げる目的も持って資格を取得する人が多い。踏み切れる人も、踏み切れない人も、在職中に専門知識の拡充やコンテンツの準備を行い、人脈を広げ、経験を積むことでネクストキャリアの可能性が広がる。

ただし、どれだけ時間をかけても、準備が完璧になることはない。一定の準備を行い、人生観や周囲の状況に配慮したうえで、悔いのない決断を自ら下す必要があるだろう。

本アンケートにご協力いただいた中小企業診断士は40歳代以上の方が71%と多く、事例としてもその年代が必然的に多くなるが、30歳代の若手診断士でも、果敢にネクストキャリアに挑戦し、成果を出している人もいます。

第2章以降で、4人の30歳代の中小企業診断士を取り上げる。コンサルタントへの転職、事業会社への転職、経営者としての起業、中小企業診断士としての独立の4事例である。

本特集を診断士資格を生かしたネクストキャリアを検討するための一助として役立てていただきたい。

水戸 脩平

(みと しゅうへい)

1984年兵庫県生まれ。2006年早稲田大学卒業後、金融機関・ITベンダーにてコンサルティング・管理会計・法人営業に携わる。現在は広告制作会社で経営管理・組織活性・人材育成などを担当。2013年中小企業診断士登録。

